

増補版

## ピアノの巨匠たちとともに

### ピアニスト、調律師のことから、人生哲学までも考えさせられる1冊

岳本恭治 (ピアニスト・日本J.N.フンメル協会会長)

この魅力的な題名の本を読み終えたとき、ホロヴィッツのピアノの音が信仰に篤く、あたたかい愛情に満ちている調律師によって作り上げられたことを知り、とても幸せな気分になった。そしてここに書かれている名ピアニストの意外なエピソードを励みにピアノを練習し、調律師のひたむきな努力によって作られた音を認識しながら夢中でさらうことを体験できた。

本書はホロヴィッツが全幅の信頼を寄せていた巨匠技術師(調律師)フランツ・モアによって、名ピアニストの知られざる素顔やスタインウェイ・ピアノと調律について、さらに彼自身の半生とイーディス・シェイファーから見たフランツ・モアについての文章を含め、4部で構成されている。第1部「ピアニストたち」ではフランツ・モアが調律を担当したホロヴィッツ、ルービンシュタイン、ギレリス、ヴァン・クライバーン、グレン・ゲールドという名ピアニストたちの深刻な話題から奇想天外なおもしろい話が満載になっている。特にホロヴィッツの話は何度も読み返した。また、今回出版された「増補版」に追加されたグレン・ゲールドの章は、間近で接したフランツ・モアならではの観察力と生々しい体験によった貴重な物語である。前書「ピアノの巨匠たちとともに」を読んだ方でも、改めて「増補版」を読まれる価値は充分にあるだろう。第2部「ピアノ」では、スタインウェイ・ピアノと調律、ピッチ、調整、ヴォイスン(整音)について、この巨匠技術者によって語られている。ピアノの練習と調律はあまり関係がないように思われるが、ぜひこの章を通読して基礎的な知識を身につけられることをお勧めしたい。ホロヴィッツのピアノであろうが、一般の家庭におかれているピアノであろうが、調律や調整、ヴォイスンがなくてはピ

アノ本来の威力を発揮させることはできないのである。ここではフランツ・モアの愛情溢れる言葉で易しく解説してあるので、自分の求めている音がどのように作られ、どのように演奏しなければならないかを一考するための良い機会となるだろう。また調律師と接するときの話題も豊富になり、音に対して認識を新たにし、演奏のしかたに新しい工夫を見いだすことができるようになると思う。第3部は「技術師フランツ・モア」の半生が綴られている。戦争によって神への信仰を完全につぶされた彼が、敬虔なカトリック信者になるまでの長い道のりと、その信仰から生まれる「音」について書かれている。最後の第4部では本書の構成を担当したイーディス・シェイファーから見た「仕事上の技術師フランツ・モア」が克明な観察力によって描き出されている。その中でフランツ・モアの性格は、全世界の主は「天にまします父」であるという確信から生まれていると述べられている。

このように本書はピアニストや調律師のことはもとより、人生の哲学をも考えさせられる充実した内容で構成されている。また、本書の魅力は、アメリカでの多大なる業績を礎にピアノ指導者育成のために幅広く活躍中の中村菊子氏の翻訳によるところが大きい。ぜひピアノのレスナーや学習者の方々がピアノの上に置き、活用されることをお勧めする。

増補版  
ピアノの巨匠たち  
とともに  
フランツ・モア 著  
イーディス・シェイファー 構成  
中村菊子 訳  
音楽之友社・  
2,600円+税



Wertheimstein Trio Wien  
2001年、ウィーン国立音楽大学で学ぶ三輪愛(vn、左)、片岡典子(vc、中央)、渡辺泰人(p、右)の3人により結成され、ウィーンを中心に演奏活動を開始する。トリオ結成後は、T.レオポルド、A.クムジャンの両氏に師事。

ヴァイオリンの三輪愛、チェロの片岡典子、ピアノの渡辺泰人の3人は、ウィーン国立音楽大学在籍中の2001年にトリオを結成した、いずれも20歳代後半の若い音楽家。プログラムはハイドンの《ピアノ・トリオ「ジプシー」》作品73-2、ダンツィの《フルートとチェロの為のデュオ》。

オ)作品64-3、シューマンの《カノン形式による6つの作品》作品56、メンデルスゾーンの《ピアノ・トリオ第一番》作品49だった。リード役のヴァイオリン、やや気負いがちなピアノ、きちんと弾き、地道に演奏するチェロという感じで曲が進む。ハイドンでピアノに抑えられがちだったチェロがダンツィで甦り、ヴァイオリンと自然な「からみ」を見た。シューマンは冴えた弓使いのヴァイオリンが特に第2・3曲でシューマンらしいロマンティズムを聴かせた。メンデルスゾーンは当夜のピアノと弦がもっとも溶け合った演奏。だが、トリオはピアノがもっとも難しい。やはり均衡したアンサンブルにもう少し、気を使って欲しかった。アンコール2曲目ピアノソラの《リベルタンゴ》では張り詰めた緊張が解けたのか、3人そろっての楽しげな演奏。こんな室内楽の味わい方もあることを見せてくれた。

### 初々しさあふれる期待のトリオ ヴェルトハイムシュタイン・トリオ・ウィーン 『ウィーンからの贈り物』

◎4月4日 横浜みなとみらいホール小ホール

栗田晃穂

## ムジカノーヴァ叢書

山崎 孝  
ムジカノーヴァ叢書1  
バルトーク ミクロコスモス 演奏と指導法  
A5 248頁 ¥2,800

R.リーフリング 佐藤峰雄訳・監修  
ムジカノーヴァ叢書5  
ピアノペダリング  
A5 140頁 ¥2,200

山岸麗子  
ムジカノーヴァ叢書7  
あたまで弾くピアノ 心を表現する手段  
A5 136頁 ¥2,200

藤本雅美  
ムジカノーヴァ叢書8  
ピアノのためのフィンガートレーニング  
A5 200頁 ¥2,500



下山 望  
ムジカノーヴァ叢書9  
講例分類による ピアノ運指法  
A5 152頁 ¥2,000

J.ホフマン 大場哉子訳  
ムジカノーヴァ叢書15  
ピアノ演奏・Q&A  
A5 192頁 ¥2,500

W.ゲオルギイ 友利 修・山崎典子共訳  
ムジカノーヴァ叢書20  
ピアニストの手帖 よい演奏のために  
A5 144頁 ¥1,600

酒井直隆  
ムジカノーヴァ叢書22  
ピアニストの手 障害とピアノ奏法  
A5 112頁 ¥1,700

H.ドイチュ 鮫島有美子訳  
ムジカノーヴァ叢書23  
伴奏の芸術 ドイツ・リートの魅力  
A5 276頁 ¥2,800

雁部一浩  
ムジカノーヴァ叢書24  
ピアノの知識と演奏 音楽的な表現のために  
A5 88頁 ¥1,400

森山ゆり子/森山光子  
ムジカノーヴァ叢書25  
ピアノ演奏の秘訣 音楽的技法のエッセンス  
A5 108頁 ¥1,600

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30  
音楽之友社 トモミュージックエンタープライズ  
TEL: 03-3235-4511 FAX: 03-3235-4011